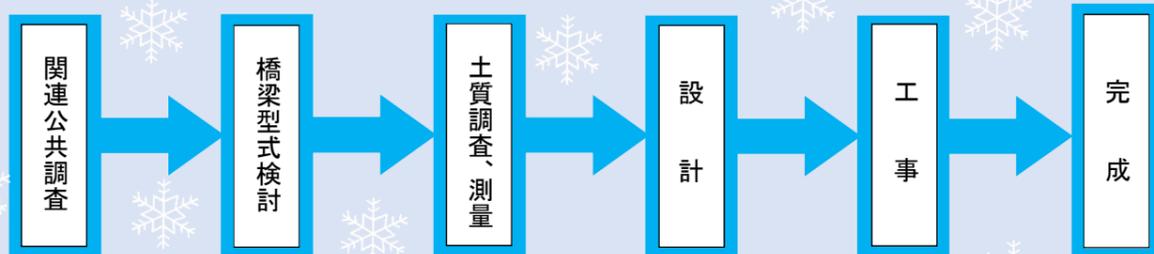


4車線化事業(H30.12)の状況

◆佐々IC～佐世保大塔IC間において測量及び土質調査、道路設計を実施しております。それと並行して橋梁の設計業務の発注手続きを行っており、来年度にかけて順次設計が完了していく予定です。

4車線化事業の流れ



土質調査全体の様子(佐々町口石免)



こちらの土質を調査しています



測量の様子(佐々町口石免)



地盤面から18m下をボーリング調査し、土質状況を把握

NEWS TOPICS

地元説明会

■9月から、佐々・佐世保地区の関係地域の皆様に対し、土質調査・測量業務の事前説明会を行いました。説明会には、13の自治会(およそ200名)の方々が参加されました。



中里皆瀬地元説明会(H30.10.18)

「させぼっくす99」に『西海ロード通信』配置

■道の駅「させぼっくす99」に、本誌『西海ロード通信』を置いていただくことになりました。本誌は年3回(4, 8, 12月)の発刊予定であり、佐世保道路4車線化事業に関する情報及び管内の情報について、皆様にお届けします。



※『西海ロード通信』はネットでもご覧になれます。

NEXCO西日本 西海ロード通信 [検索](#)

佐世保市議会から要望書を受理

■佐世保市交通体系整備特別委員会から、「西九州自動車道の整備促進について」の要望活動が11月5日に行われました。要望事項は下記のとおりです。



【要望事項】

- 1 佐世保道路(佐々IC～佐世保大塔IC)の4車線化の整備促進
- 2 工事に伴う現道交通への影響軽減
- 3 既存ICにおける交通渋滞解消及び安全対策の早期実施
- 4 事業実施に際しての地元企業への配慮

西九州自動車道(調川IC～松浦IC間) 開通

■国土交通省長崎河川国道事務所が整備を進めてきました西九州自動車道(調川IC～松浦IC間)が、平成30年12月15日に開通しました。



写真提供:国土交通省長崎河川国道事務所

～佐世保の歴史・名所 探検隊～

◆弓張岳砲台跡

弓張岳砲台跡とは、太平洋戦争を目前に控えて建設された山頂付近の軍事施設の跡地です。1941年(昭和16年)3月に建設が極秘裏に始まり、佐世保空襲の際に300発ほど撃たれたようですが戦果はなかったようです。



現在も残っている高射砲台跡



改修された高射砲台跡

佐世保工事事務所 新メンバー



H30.9.1 着任【総務課】

池田 美佐

9月より小学生の修学旅行ぶりに佐世保に参りました当事務所3人目の池田です。モノを造る建設の現場は初めてで戸惑いもありつつ、精一杯頑張ります。



H30.10.1 着任【佐世保工事区】

岩元 和彦

10月より佐世保工事区に着任しました岩元です。佐世保道路4車線化事業の1日も早い現場着手に向け、精一杯頑張ります。